



PTA
会 報

山 王

第135号

平成29年10月2日発行
石岡第一高等学校
PTA広報委員会



平成29年度PTA役員

会員の皆様におかれましては益々ご清栄のことと、お慶び申し上げます。
本校生の学業、各部活動における成績は、大変すばらしい結果を残しております。これは、長年受け継がれている「山王魂」からなるものと確信しております。これからも、より一層の活躍を期待しております。



PTA会長
町井 憲治

◇PTA会長あいさつ

により、様々な課題が毎日の様にあがっております。早急に対応し、課題の解決に向けた取り組みに努力してまいります。更に石岡一高のPTA活動を発展させ、次の世代に無事に引き渡せますよう、今後ともご理解ご協力をお願い申し上げます。

◇積み重ねた人の思い



校長
塔 隆 之

平成26年度の校舎新築から数えれば、平成30年度は5年の区切りになります。その間、生徒一人ひとりが成長する姿を見届けることが何よりの成果と感じています。

学校は大きなうねり・変化の中で移り変わりますが「一つの大事が成されるには、多くの人の思いが積み重なっている」ことを強く感じます。それは10年、50年という極めて長い期間になりますが、私たちの役割は「伝えていく事」「求めていく事」であると思っています。

PTA会員が互いに刺激を

受け、同時代に同じ空気を吸いながら一緒に活動する事が、生徒の成長に繋がります。学校生活を楽しく有意義にすごすこととなります。

総会や支部会でも、建設的な意見や行動をいただけた事が新しい光となりました。3年生は進路に向けた仕上げの日々を送る時期です。

保護者の皆様には、これからも活動に積極的に参加いただき、生徒の実りある学校生活を共有していただきたいと思います。

◎PTA総会

5月20日(土)にPTA総会が開催されました。当日は野球部の関東大会の試合と重なり出席率が低下したのは残念ですが、PTA研修講座や各学年の懇談会など会員の皆様の要望に応えられるよう、内容の充実に向けていきたいと考えております。また、ウエイトリフティング部の演技も披露され、日頃の生徒の活動を知っていただく機会にもなればと思っております。今後とも本校の教育活動にご理解をいただき、積極的なPTA活動への参加を宜しくお願い致します。



PTA総会



★運動部

硬式野球部



◎「疾風勁草」

監督 川井 政平



昨年の初戦敗退から、新チームの始動はなかなか思うようにはいきませんでした。秋季大会もベスト16にとどまり、生徒と共に苦しみながら日々があります。相当な覚悟を持って臨んだ冬場の練習、生徒たちは一人も音をあげる者はいませんでした。迎えた春季大会、2年連続関東大会に出場することができました。大会に際しまして、先生方、OBの皆様、地域の方々のたくさんの方々の応援にありがとうございます。集大成の夏の大会、4回戦で常総学院に敗れました。人生は勝ったり負けたりと言いますが、むしろ負

けたり、負けたりの方が多いい気がします。監督の力不足で生徒たちには辛い思いをさせてしまいました。引退する3年生には、これからますます、バイタリティーに富む、魅力的な大人に成長していただきたいと思います。

◎「成長」

3年3組 大野 啓輔

この3年間は私たちを大きく成長させてくれました。先輩たちからチームを引き継ぎ、臨んだ秋の大会でしたが、ベスト16で下妻一高に敗れ、思うような結果が生まれませんでした。この時、私たちは、大きな「挫折」を味わいました。そんな中、チームを大きく変えるきっかけとなったのが冬の厳しい練習でした。例年以上に厳しい冬練は大変でしたが、それによって一人ひとりが自覚を持って練習をするようになりました。そして冬を乗り越え個人が強く、「自立」したことにより、大きなチームワークが生まれました。そして春の大会でその成果が出て、2年連続の関東大会出場を決めました。試合後、スタンドの方へ行くと、たくさんの方々に感謝の言葉をいただきました。とても「感動」しました。

夏の大会はベスト8決めで常総学院に僅差で負けてしまいました。たくさんの方々に応援され「感謝心」を持って挑んだ夏の大会は私たちを更に成長させてくれました。本

当にたくさんの方々の応援ありがとうございました。この3年間の経験を活かし、これからも日々精進していきます。



バドミントン部

3年5組 海老澤 花

私たちバドミントン部は、顧問の先生と外部コーチのご指導の下、日々練習に励んでいます。基本的にオフはテスト前の数日だけですが、厳しい練習を共に過ごし志を共にする仲間たちと一緒に、3年間打ち込んできました。その結果、女子バドミントン部は関東大会に11年連続出場し、今年度は個人単複揃ってインターハイへの権利も勝ち取っています。

関東大会やインターハイは、県内予選とは違った独特の雰囲気がある、私自身の力を発揮するのが非常に難しかったです。そのためインターハイのシングルスでは、私が得意とするプレーに持ち込むことができず、2回戦で敗戦という悔しい結果に終わってしまいました。しかし妹と組んだダブルス

では、緊張感もほぐれ、過去最高の試合ができました。結果はベスト16ですが、試合が終わったあとは全力を出し切ったことによる清々しさを感じたことを今でも覚えています。

インターハイは終わってしまいましたが、国体・関東総合とまだまだ重要な試合がこれから控えています。現状に満足することなく、さらなる高みを目指し練習に取り組んでいく決意です。応援よろしくお願いします！



平成29年度 インターハイ女子ダブルス

ウエイトリフティング部



3年4組 山口 千尋

7月に行われた全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会に参加しました。最近の大会では、あと一步の

ところで優勝を逃しており、今回の大会も不安があったが、これまで積み重ねてきたものを出し切り、優勝することができた。

高校1年生の時、担任の佐藤先生の誘いで入部した。自分が優勝するなんて夢にも思わず、1週間だけ我慢して辞めようと考えていた。しかし、続けようと思えば、絶対に優勝するという目標を立て、毎日練習に励んだ。いつも満足いく練習ができたわけではなく、たまに出る膝や腰の痛みと付き合いながらやってきた。

今大会の事前ランキングは4位で、成功率で優勝は可能であることは分かっていた。スナッチは、アップでは調子が悪かったが、プラットフォームの上では3本成功することができた。ジャークは、1本目で足が攣ってしまい失敗してしまっただけ。しかし、絶対に勝つ、それだけを思い、3本目を成功させた。終わってみれば、スナッチ、ジャーク、トータル全てにおいて優勝することができていた。

私を優勝させてくれた先生方には感謝しかありません。今回の結果で満足せず、全日ジュニア選手権大会で優勝し、日本代表選手になることが目標だ。



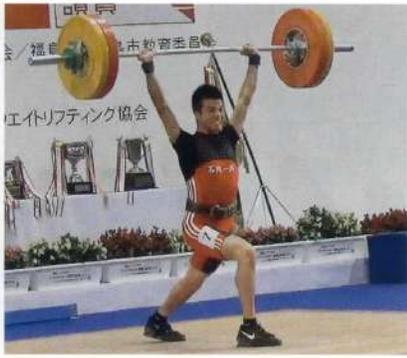
◎「声援を力に変えて」

3年8組 関 信太郎

練習では、1日約120本程の競技動作を的確な動きで素早く行うために調整を行います。しかし、試合では各競技3本の計6本までしか挙げられません。

このような規則の中では、如何に試合を想定し練習に臨むべきか考え、練習を積んだ結果、関東大会で優勝を掴み取れました。

そこに至るまで、自分の意志を曲げず維持できたのは、互いを高め合えた同級生の存在、先生方の指導、友人や家族の声援があったからです。国体では、最良の報告ができるようにしたいと思います。



◇ウエイトリフティング試合結果◇

【第50回関東高等学校ウエイトリフティング競技大会】

(6月：栃木県小山市)

団体 優勝

《石岡一高としては初優勝、茨城県勢としては43年ぶり3回目》

【第19回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会】

(7月北海道札幌市)

53 kg級 優勝 山口 千尋

【平成29年度全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会】

(8月：福島県福島市)

53 kg級 第8位入賞

関 信太郎

56 kg級 出場 川島 圭悟

62 kg級 出場 山口 晃由

62 kg級 出場 井野 拓真

94 kg級 出場 平澤 大輔

【平成29年度第72回国民体育大会】

(10月：愛媛県新居浜市)

精一杯頑張つてきます！

53 kg級 関 信太郎

62 kg級 山口 晃由

105 kg級 平澤 大輔

ソフトテニス部



◎男子ソフトテニス部

2年6組 宮城 吉海太

私たち男子ソフトテニス部は、2年生8名、1年生8名の16名で活動しており、顧問の石川先生、野村先生、吉永先生のご指導の下、日々の練習に励んでいます。

今年の関東予選や全国予選は県決めの試合までは進みましたが、惜しくも負けてしまいました。しかし、私たち現2年生は、1年生の時から上級生がいなく、常に自分たちが主力として1年間活動してきました。結果として、下級

生から多くの経験を積めたことは自分たちの成長に繋がったと思います。また、新チームでは、チーム全体の意識向上を目指し、部長の1日交替制をとっています。一人ひとりがチームを牽引する気持ちは持ち、個人のためチームのために何が必要で何ができるかを考えて日々練習に励んでいます。

これからの1年が僕たち2年生にとって最後の1年。今年度こそは県大会上位入賞、延いては関東大会・インターハイ出場を目指して頑張ります。

◎女子ソフトテニス部



女子ダブルス 関東大会出場

サッカー部



私たちサッカー部は、顧問の先生方のご指導の下練習に励んでいます。

部員が少ないからこそ1日1日を大切に、3部リーグへの昇格、選手権での県大会出場を目標に、練習に取り組んでいます。

4月の関東予選、5月のインターハイではあと1歩のところまで県大会出場を逃してしまいました。この試合を通して、守り抜く力、点を取る力の不足を感じました。

8月末から行われる選手権では、新チームになり初の大きな大会で緊張も大きいと思いますが、実力を出し切り県大会出場の目標を達成します。

バスケットボール部



◎男子バスケットボール部

こんにちは。男子バスケットボール部です。2年生6人、1年生11人、マネージャー2人、副顧問小澤先生、富岡先生、顧問渡邊先生の下、日々練習に励んでいます。まだ発展途上の僕たちですが、個々のレベルを上げると共に、チーム力の底上げをして頑張っています。練習時間は、約2時間と決して長くはありませんが、集中した中身の濃い練習をしています。去年は、それほどいい結果が出なかったのですが、今年はずっと以上に頑張ってきた練習の成果を、大会にぶつけられればいい結果がでると思います。

◎女子バスケットボール部

私たち女子バスケットボール部は、2年生2人、1年生6人、マネージャー2人、顧問の渡邊先生、小澤先生、富岡先生の指導の下、日々練習に励んでいます。人数が少なく、選手一同まだまだ未熟で

陸上部



私たちは陸上競技部は、石津先生、稲垣先生のご指導の下、日々練習に励んでいます。

選手一人ひとりが「初志貫徹」「勇往邁進」を心に置き、短距離、長距離共に同じ目標でチーム力を高め合いながら、県大会上位入賞の目標を叶えるため、練習を行なっています。

現在は、秋の新人戦に向けてそれぞれの種目のレベルアップ、更に冬になると駅伝シーズンに入り、個々の力だけではなく、チームで繋ぐ力も必要になってくるので、全員が意識を高く持ち、支え合い、切磋琢磨しながら更なるチームのレベルアップを目指していきたいと思っています。



ハンドボール部



剣道部



女子バレーボール部



男子バレーボール部



柔道部



弓道部

卓球部



私たち卓球部は、塩畑先生・野尻先生・廣津先生のご指導の下、日々一生懸命練習しています。練習内容は、ドライブやサーブをはじめとする基本打ち練習やゲーム形式練習、土日、祝日は県内外のチーム



ダンス部

私たちダンス部は、夏の野球応援のためにチアの練習をしています。練習の内容は、踊りの練習と声出しです。踊りの練習は、少人数のグループに分かれて細かい所の確認をしたり、全体で踊りが揃っているかを確認しています。声出しでは、一人ひとりがちゃんと声を出せるように校歌の練習や応援歌の練習をしています。選手の練習は大変ですが、選手の

ダンス部



と練習試合を多く行います。今年の県南大会では、団体戦で男子3位、女子優勝を果たし、県大会に出場しました。昨年の県大会3位の成績に迫れるよう、より一層努力を重ね、県大会で上位入賞できるように、男女とも頑張っていきたいと思っています。

文芸部は、毎月第2火曜日に図書館に集まり、次の部誌のテーマや締め切り日を決めたり、持ち寄った原稿の印刷や製本をしています。普段はそれぞれ自宅などで原稿を書

文芸部



今年のコングールでは、今まで取る事ができなかった、優秀賞を取る事ができました。来年は、更に上を目指せるよう、そして、地域イベントや学校行事で、より多くの方々に聴いていただけるような演奏をするため、部員一同1日1日を大切に、頑張っていきたいと思っています。

吹奏楽部



私たち吹奏楽部は、2年生11名、1年生9名の計20名で日々練習に励んでいます。主に、商工祭や街角コンサートなどの地域イベントで演奏をさせていただいたり、文化祭や野球応援などの学校行事での演奏をしています。そして、私たちにとって大きなイベントである、夏のコンクールで演奏をします。

文化部の活動

皆さん一人ひとりに届くように頑張っています。本番は、練習では感じられないドキドキ感や達成感があり、とても楽しく、やりがいを感じます。

僕たち演劇部は、2年生6人、1年生5人、顧問3人の計14人で活動しています。部員全員が個性豊かで、一丸となって全国大会出場を目指して日々練習に真面目に取り組んでいます。例えば、発声練習やストレッチ、体幹など基

演劇部



初めでの試みでしたが、文化祭を盛り上げることができました。部員同士の交流も盛んで、日々和気あいあいとしています。昨年の県総合文化祭では、絵画の部、デザイン部の部で入賞することができたので、今年も入賞を目指して頑張りたいです。

美術部



私たちは美術部の普段の活動は、作品制作のためのアイデアスケッチを進めたり、資料を集めたりと秋の県総合文化祭や県南美術展に向けての制作を行なっています。また、校内の文化祭では、その年のテーマにそって作品を制作します。昨年は、階段アトで、

3年生が引退して、現在は1年生3名だけの活動になってしまいましたが、地道に活動をしながら、部員を増やしていきたいと考えています。